

1. 経済水準——一人当たり GDP 1万 2000 米ドル突破力

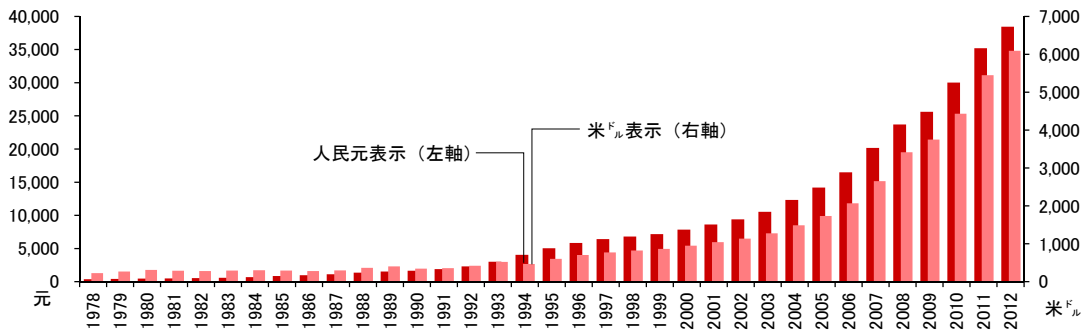
中国の一人当たり GDP（域内総生産力）は 6000 米ドル、国家レベルで世界 100 位程度の水準にあるが、都市レベルで見ると 1 万ドルクラブ入りした都市が 30 余もあり、住民数は日本の人口を上回っている（約 1 億 5000 万人）。その成長は恐るべき勢いで、ほとんどが年率 10% 以上であり、最近ではレベルの低い西部や中部の都市が急激な成長を遂げている。一人当たり GDP 1 万 2000 米ドルは世界銀行の高所得国入り基準に他ならない。

高レベル・大スケールの商圏は沿海部の三大商圏（北京圏、上海圏、広州圏）を中核として、その沿岸線上に福州・厦門商圏、青島・済南商圏、大連・瀋陽商圏が連なっている。また長江筋には上海から遡上して中部の武漢・長沙圏、西部の成都・重慶圏が伸び、以上の八大商圏が中国マーケットの骨格を形成している。

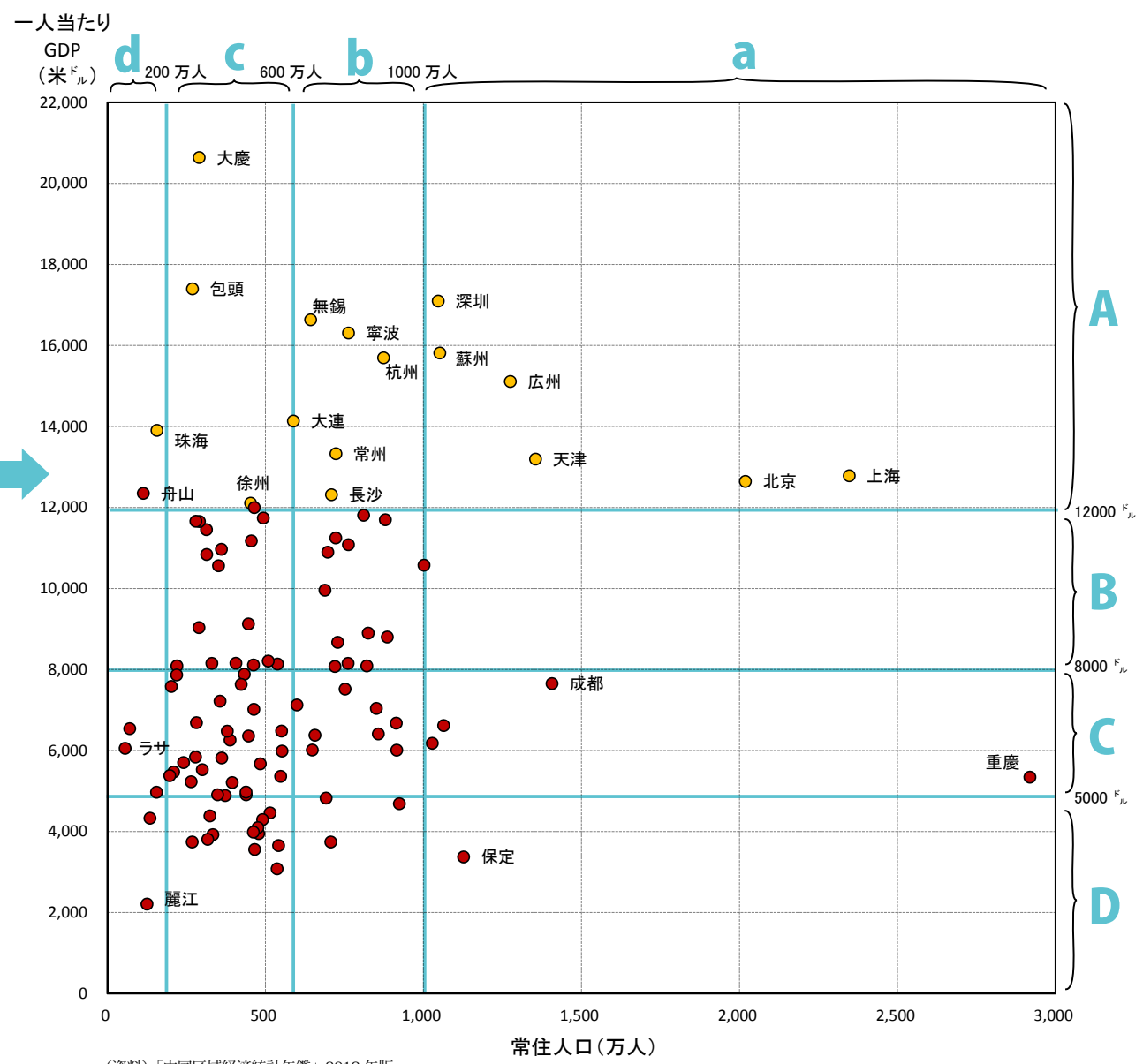
(1) 1 億 5000 万人が高所得国レベルに達している——一人当たり GDP と人口による格付

| 一人当たり GDP (2011年・米ドル) | 常住人口 (2011年) | | | |
|-----------------------------------|-------------------|-------------------------------------|---|--------------|
| | a (1000 万人以上) | b (1000 万人未満 600 万人以上) | c (600 万人未満 200 万人以上) | d (200 万人未満) |
| A (12000 米ドル以上) | 上海、北京、天津、広州、蘇州、深圳 | 杭州、寧波、常州、長沙、無錫 | 大連、徐州、大慶、包頭 | 珠海、舟山 |
| B (12000 米ドル未満 8000 米ドル以上) | 武漢 | 鄭州、青島、鎮江、中山、南京、唐山、長春、泉州、瀋陽、福州、台州、済南 | 惠州、南昌、連雲港、東莞、泰州、秦皇島、揚州、宜昌、厦門、鞍山、ウルムチ、湛江、威海、フフホト、湖州、淄博、撫順 | — |
| C (8000 米ドル未満 5000 米ドル以上) | 重慶、成都、ハルビン、石家荘 | 濰坊、南通、温州、西安、合肥、洛陽、昆明 | 仏山、襄陽、泰安、岳陽、漳州、江門、嘉興、吉林、太原、肇慶、株洲、柳州、蘭州、蕪湖、紹興、日照、蒲田、南平、丹東、延安、海口、銀川 | 西寧、三亜、ラサ |
| D (5000 米ドル未満) | 保定 | 邯鄲、北海、南寧 | スワトウ、チチハル、安陽、咸陽、桂林、九江、開封、綿陽、貴陽、煙台、宝鶏、承德、大同、欒山、蚌埠、潮州 | 金華、黄山、麗江 |

(2) 上位中所得国レベルから高所得レベルに——中国の経済水準の上昇



(4) 1 万ドルクラブが 32 都市、1 万 2000 米ドル突破が 17 都市——一人当たり GDP と人口の相関



(3) 低水準の内陸都市が急成長を始めた——106 都市の一人当たり GDP とその成長率 (2011 年)

